

2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[東浦町立緒川小学校] 担当教諭名[岩本和也・服部紗絵子] (6年1・2組 81名)

交流相手国[ニュージーランド]

海外学校名[Ashburton Borough School] 担当教諭名[Lyn Galloway]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	「アートマイルで異文化とつながろう」	16

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	友情のパズル
絵に込めたメッセージ	協働学習を通して、パズルのピースという基本構成を決めた。それぞれのパズルのピースにお互いに伝えたい伝統的な文化や現代の文化、美しい自然などを描いた。最後に手形の虹をつなげて、友情のパズルを表現した。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
1学期の総合的な学習の時間で国際理解について学習し、異文化とのつながりを考えた。このような学習を受けて今回の実践を行ったことで、児童の世界の国々に対する興味がさらに深まった。	相手校の休暇・学年が入れ替わる時期であったこともあり、思うように連絡をとることが難しかった。活動の見通しをもつことが難しく、継続的な取り組みとはならず、自己紹介・手紙交換・壁画作成等、それぞれが関連性の薄い単発の活動となってしまった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
テレビ電話で相手の反応を見ながら自己紹介をしたり、リコーダーの演奏を聴いてもらったりすることで、初めて交流する実感を得ていた。相手の子どもたちから送られてきた壁画を見て、文化の違いを体感しながら、つながっていく喜びを感じていた。	フォーラムでの打ち合わせやテレビ電話を通して、異文化理解の喜びとともに難しさを改めて実感した。年明けに送った子どもたちの年賀状を喜んでくれたことを聞いて、両国の子どもたちがつながることができたように感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活 動 内 容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月	自己紹介をスカイプで行う。	自己紹介カードを用いて、相手に自分たちのことを伝えて、拍手をもらった。自分たちのことを伝える喜びや異文化と触れる楽しさを感じていた。	総合3
テーマ学習	9月	インターネットでニュージーランドについて調べる。	ニュージーランドの文化、食事、自然、動物など、子どもたちにとって身近なテーマで進んで調べ学習をしていた。	総合2
構図決定	10月	学年全体で構図案を考える。全員の話し合いで構図を決定し、下書きをフォーラムで提案する。	「有名な日本文化を知ってほしい」「東浦の文化を伝えたい」という思いを強くもち、進んで提案していた。	総合2
壁画制作	1月	実行委員会を中心に下絵や配色を検討し、クラス別に全員で色塗りをする。	慎重に、丁寧に色塗りをしていた。	総合8
鑑賞・振り返り	3月	作品とともに記念撮影をして、作品鑑賞会を開く。卒業式の会場で展示をする。	完成した壁画を見て、相手とつながったことを実感することができた。	総合1

■学習目標(つきたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入（A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった）

「成果」先生の手応え（5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった）

学習目標・つきたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	4	2学期に実施した修学旅行で実際に見学した寺院を紹介したい自文化としてデザインに取り入れていた。
異文化の理解	B	3	インターネットでの調べ学習を短い時間で実施することしかできなかった。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	2	自分のことを伝えるために、自己紹介カードと原稿を書いた。時間の制約もあり、一方的な会話しかできなかった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	ニュージーランドについて進んで調べ学習に取り組んでいた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	5	相手に興味をもち、良好な関係を築き、実行委員会を中心に学年全員で活動を進めることもできた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	学級内でグループに分け、分担した役割に責任をもって取り組む子どもが多かった。
学習を追究する意欲	A	4	どのような壁画ができるのか楽しみにしている子どもたちもいた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	3	学年全員で個々にデザイン案を考えた。
作品を鑑賞する力	B	4	一つの作品に仕上がったことに達成感を感じていた。